

2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年11月8日

上場会社名 オーナンバ株式会社 上場取引所 東
コード番号 5816 URL <http://www.onamba.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木嶋忠敏
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理統括部長 (氏名) 宮本敦浩 (TEL) 06-7639-5500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	33,530	△0.0	1,382	△32.4	1,338	△39.4	2,096	28.3
2023年12月期第3四半期	33,544	5.9	2,044	32.9	2,206	21.7	1,633	38.6

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 2,293百万円(△17.4%) 2023年12月期第3四半期 2,777百万円(△2.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	172.01	—
2023年12月期第3四半期	134.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	38,361	24,932	63.9
2023年12月期	37,075	23,468	61.8

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 24,515百万円 2023年12月期 22,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	14.00	—	27.00	41.00
2024年12月期	—	40.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	17.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年12月期 中間配当金の内訳 普通配当20円00銭 特別配当20円00銭

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,200	△1.2	1,800	△27.2	1,700	△32.9	2,300	15.9	188.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
除外 1 社 (社名) 惠州市鈞星工貿有限公司

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期 3 Q	12,558,251株	2023年12月期	12,558,251株
---------------	-------------	-----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年12月期 3 Q	371,588株	2023年12月期	371,518株
---------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年12月期 3 Q	12,186,702株	2023年12月期 3 Q	12,186,746株
---------------	-------------	---------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 株式等の状況	4
(1) 株式の総数等	4
(2) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(3) 議決権の状況	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

1 当第3四半期における業績全般の動向

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）における当社グループの経営環境は、米中貿易摩擦やロシア・ウクライナ紛争の長期化、中国市場の低迷、加えて原材料価格の高騰や為替相場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社グループでは、本年を初年度とする中期経営計画「PROGRESS 2026」の下、エネルギー新時代に即した「グローバルな総合配線システムメーカー」の実現に向けて、成長戦略/生産戦略/経営基盤強化と資本コストを意識した経営に、着実に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績について、売上面では、自動車関連市場における需要の増加、および円安による為替換算上の理由により売上高が増加しました。しかしながら、その他の当社関連市場における売上高は、市況の回復遅れや顧客における在庫調整の影響などにより前年を下回りました。その結果、当社グループの売上高は前年並みとなりました。

利益面では、原価低減活動、さらには材料価格上昇分への対応として製品価格の改定に取り組みました。しかしながら、市況の回復遅れや顧客における在庫調整などによる売上高の減少、また北米市場におけるペソ高による為替変動やメキシコ工場での生産性の悪化などが利益を圧迫しました。その結果、営業利益、経常利益は前年を下回りました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、当年5月の本社移転に伴う旧本社の土地売却益を特別利益に計上したことにより、前年を上回りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は33,530百万円（前年同期比0.0%減）、営業利益は1,382百万円（同32.4%減）となり、経常利益は1,338百万円（同39.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,096百万円（同28.3%増）となりました。

2 セグメントの業績

期別 セグメント別	売上高			営業利益		
	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率 (%)
日本	18,817	18,018	△ 4.2	1,159	929	△ 19.9
欧米	9,507	10,154	6.8	212	△ 60	—
アジア (日本を除く)	5,220	5,356	2.6	697	521	△ 25.2
消去	—	—	—	△ 24	△ 8	—
合計	33,544	33,530	△ 0.0	2,044	1,382	△ 32.4

(注) 増減率につきましては、表示単位未満を四捨五入しております。

①日本

当第3四半期連結累計期間は、当社関連市場において市況の回復遅れや顧客における在庫調整などにより需要が減少しました。一方、電線市場において需要が逼迫し売上は増加しました。その結果、日本での売上高は18,018百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

利益面では、売上高の減少及び品種構成の悪化に加え、原材料価格の高騰などが影響した結果、営業利益は929百万円（前年同期比19.9%減）となりました。

②欧米

当第3四半期連結累計期間は、欧州では空調関連の補助金が終了し需要が低迷しました。一方、北米では自動車関連市場において需要が増加しました。さらには、円安による為替換算上の理由により売上高が増加しました。その結果、欧米での売上高は10,154百万円（前年同期比6.8%増）となりました。

利益面では、欧州での売上の減少、また北米市場におけるペソ高による為替変動やメキシコ工場での生産性の悪化などが影響した結果、営業損失は60百万円（前年同期は212百万円の営業利益）となりました。

また、欧州空調関連の補助金終了による需要の低迷は、今後も一定期間は継続することが懸念されております。

③アジア（日本を除く）

当第3四半期連結累計期間は、中国市場の低迷の長期化や顧客における在庫調整などにより需要が低調に推移し、アジアでの売上高は前年並みの5,356百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

利益面では、品種構成の悪化などの影響により、営業利益は521百万円（前年同期比25.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

<資産>

資産合計は、38,361百万円（前期末比1,285百万円増）となりました。主に、棚卸資産372百万円、有形固定資産832百万円及び投資その他の資産が357百万円増加し、現金及び預金が217百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が111百万円減少いたしました。

<負債>

負債合計は、13,429百万円（前期末比178百万円減）となりました。主に、未払法人税等370万円及び賞与引当金263百万円が増加し、支払手形及び買掛金554百万円及び長期借入金252百万円が減少いたしました。

<純資産>

純資産合計は、24,932百万円（前期末比1,463百万円増）となりました。主に、利益剰余金1,279百万円及び為替換算調整勘定238百万円が増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月8日において、2024年12月期の通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、同日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 株式等の状況

(1) 株式の総数等

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,000,000
合計	45,000,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2024年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2024年11月8日)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	12,558,251	12,558,251	東京証券取引所 スタンダード市場	単元株式数は 100株であります。
合計	12,558,251	12,558,251	—	—

(2) 発行済株式総数、資本金等の推移

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2024年9月30日	—	12,558,251	—	2,323,059	—	2,031,801

(3) 議決権の状況

① 【発行済株式】

2024年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 371,500	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,166,400	121,664	—
単元未満株式	普通株式 20,351	—	—
発行済株式総数	12,558,251	—	—
総株主の議決権	—	121,664	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が、2,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数20個が含まれております。

② 【自己株式等】

2024年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) オーナンバ株式会社	大阪市中央区南久宝寺町 4丁目1番2号	371,500	—	371,500	2.96
合計	—	371,500	—	371,500	2.96

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,501,977	6,284,311
受取手形、売掛金及び契約資産	10,133,679	10,021,721
商品及び製品	3,088,695	3,483,310
仕掛品	1,016,275	1,076,944
原材料及び貯蔵品	5,094,651	5,012,295
その他	882,974	967,423
貸倒引当金	△12,275	△5,024
流動資産合計	26,705,977	26,840,982
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,544,837	2,624,009
機械装置及び運搬具（純額）	1,815,225	1,827,219
土地	2,067,832	2,332,810
建設仮勘定	114,676	365,482
その他（純額）	733,583	959,565
有形固定資産合計	7,276,155	8,109,086
無形固定資産	460,207	419,652
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,697,458	3,055,451
貸倒引当金	△64,011	△63,816
投資その他の資産合計	2,633,446	2,991,634
固定資産合計	10,369,809	11,520,374
資産合計	37,075,786	38,361,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,592,579	6,037,935
短期借入金	1,310,923	1,350,385
未払法人税等	320,921	691,867
賞与引当金	231,428	494,704
役員賞与引当金	42,400	34,200
製品改修引当金	3,990	3,990
その他	2,025,578	1,815,237
流動負債合計	10,527,820	10,428,321
固定負債		
長期借入金	1,514,844	1,262,585
繰延税金負債	347,870	432,863
退職給付に係る負債	588,756	616,830
その他	628,104	688,523
固定負債合計	3,079,575	3,000,802
負債合計	13,607,396	13,429,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,059	2,323,059
資本剰余金	1,936,551	1,936,551
利益剰余金	15,503,025	16,782,490
自己株式	△160,498	△160,589
株主資本合計	19,602,138	20,881,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	628,326	777,636
繰延ヘッジ損益	—	△64,726
為替換算調整勘定	2,708,462	2,946,486
退職給付に係る調整累計額	△18,453	△25,281
その他の包括利益累計額合計	3,318,335	3,634,115
非支配株主持分	547,916	416,604
純資産合計	23,468,390	24,932,232
負債純資産合計	37,075,786	38,361,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	33,544,712	33,530,131
売上原価	27,022,742	27,488,184
売上総利益	6,521,969	6,041,946
販売費及び一般管理費	4,477,546	4,659,920
営業利益	2,044,423	1,382,026
営業外収益		
受取利息	28,875	47,928
受取配当金	37,800	46,221
持分法による投資利益	24,527	—
為替差益	82,580	—
助成金収入	15,373	6,386
その他	83,654	45,022
営業外収益合計	272,812	145,558
営業外費用		
支払利息	69,351	73,429
持分法による投資損失	—	147
為替差損	—	95,270
その他	41,130	20,545
営業外費用合計	110,481	189,392
経常利益	2,206,754	1,338,192
特別利益		
固定資産売却益	4,216	1,664,568
投資有価証券売却益	32,803	—
特別利益合計	37,019	1,664,568
特別損失		
固定資産処分損	1,191	1,825
本社移転費用	5,000	21,215
特別損失合計	6,191	23,040
税金等調整前四半期純利益	2,237,583	2,979,720
法人税、住民税及び事業税	713,541	1,041,514
法人税等調整額	△96,171	△52,528
法人税等合計	617,370	988,985
四半期純利益	1,620,212	1,990,734
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13,568	△105,555
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,633,780	2,096,289

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	1,620,212	1,990,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,681	149,310
繰延ヘッジ損益	—	△92,466
為替換算調整勘定	1,116,385	252,282
退職給付に係る調整額	5,255	△6,828
その他の包括利益合計	1,157,322	302,298
四半期包括利益	2,777,535	2,293,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,725,737	2,412,070
非支配株主に係る四半期包括利益	51,798	△119,036

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

連結子会社であった惠州市鈞星工貿有限公司は、2024年6月4日に清算が完了したことから、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	640,517千円	718,032千円

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	18,299,699	9,507,258	5,220,448	33,027,406
一定の期間にわたり 移転される財	517,306	—	—	517,306
顧客との契約から 生じる収益	18,817,005	9,507,258	5,220,448	33,544,712
外部顧客への売上高	18,817,005	9,507,258	5,220,448	33,544,712
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,681,705	32,368	6,072,482	9,786,556
合計	22,498,710	9,539,626	11,292,931	43,331,268
セグメント利益	1,159,290	212,300	697,421	2,069,012

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,069,012
セグメント間取引消去	△24,589
四半期連結損益計算書の営業利益	2,044,423

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア (日本を除く)	
売上高				
一時点で移転される財	17,497,588	10,154,542	5,356,790	33,008,921
一定の期間にわたり 移転される財	521,209	—	—	521,209
顧客との契約から 生じる収益	18,018,798	10,154,542	5,356,790	33,530,131
外部顧客への売上高	18,018,798	10,154,542	5,356,790	33,530,131
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,468,034	28,408	5,390,640	8,887,083
合計	21,486,832	10,182,950	10,747,431	42,417,214
セグメント利益又は 損失(△)	929,163	△60,681	521,800	1,390,282

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,390,282
セグメント間取引消去	△8,255
四半期連結損益計算書の営業利益	1,382,026

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。